

家庭と学校を結ぶ、保護者向け進路便り

はじめに

観測史上最も遅い梅雨入りを迎え、その後、30度前後の気温と雨で体の不調を訴える人も少なくありません。保護者の皆様も、どうかご自愛ください。保護者向け進路便りも忙しさに紛れ、やっと第1号を発行することができることとなりました。(お許しください)

さて、3年生はいよいよ正念場の夏を迎えます。梅雨明け後は、気温もぐんぐん上昇していきますが、この暑さの中でのがんばりが、秋以降の学力伸長に必ず繋がります。どうか、ご家庭でも背中を押してください。受験生は常に不安と戦いながら勉強しています。一番そばで見てくださる保護者の方が、彼らにとっては最も心の休まる存在です。ご家庭での応援をお願いします。

2年生は部活動や行事での主役となっていく時期です。互いに協力し合いながら、それぞれが一步前に進んでくれることを期待します。1年生は、高校生活での初めての夏休みになります。何か一つ自分の目標を決めて取り組んで欲しいと思います。一回り成長した姿を休み明けに見せてくれることを願っています。とにかく、暑い日々が続きますのでくれぐれも健康にはお気をつけください。

『最後のセンター試験受験者たちへ!!』

5月に「看護医療説明会」(3学年共通)、7月には「AO入試説明会」を実施しました。また、看護体験をはじめ、さまざまな職業体験の紹介も行いました。意外にも(というと失礼ですが)1・2年生の申込者が多く、非常の頼もしい思いになりました。

ところで、3年生はいよいよ「最後のセンター試験受験者」となります。「安全志向」「現役合格志向」などといわれ、チャレンジしない入試になるのではといわれていますが、だからこそチャンスも生まれてくると思います。しっかりと準備をしていけば、第一志望への合格可能性が例年よりもあがる可能性が充分にあると思います。また、「大学入学新テスト」も、以前に某大手予備校の先生がおっしゃっていたように、それほど恐れるものではありません。英語の外部テストの対策も、国語・数学の記述問題も、これまでの日々の学習が定着していれば問題なく対応できるものと思います。(だからといって「浪人しなさい」と言っているわけではありません。)だから、これまでの先輩方と同様にチャレンジして欲しいと考えています。ぜひとも、ご家庭でも「指定校推薦」や「公募制推薦」に安易に飛びつくのではなく、じっくりと腰を据えて3月までの入試に備えさせていただきたいです。

ところで、最初にお示ししたAO入試という入試をご存知でしょうか? 大学が欲する人物を、筆記試験ではなく、面接やディベート・プレゼンテーション・大学の講義を受けての面接などの課題を課し、合否を決定する入試です。ほとんど誰でもが受験可能ですが、受験者自身の実績やアピールポイント、大学入学後に大学・学部の中でどのように活躍できるかなどを明確に示すことができなければ合格はできません。また、エントリーから合格発表までの期間が長く、一般の入試のための学習時間が削られてしまうデメリットもあります。「AO入試説明会」では、その点も含めて説明をしています。ただ、この入試は、難関大学の多くも導入している入試ですので、一般の受験勉強と両立できるという強い意志を持った人は、チャレンジしてみる価値があるかもしれません。

また、従来看護医療系に多く見られた、小論文と面接を課す入試を実施する大学が増えています。小論文は、少しの練習ですぐに書けるものではありません。書く以前に幅広い知識や教養が必要になります。さらに文章自体のレベルも上げなければなりません。そのためにはさまざまな分野の文章を読み、

何度も何度も書く練習をすることが必要になります。一朝一夕にできるものではないので、時間をかけての準備が必要となります。面接に関しても同様です。面接は字の通り、「顔を見せて対応する」試験ですので、大学側はその人の本質をつかもうとします。しかし、自分を上手に表現するのはかなり難しいものです。また、面接特有の所作を身につけるのも大変です。そこで、本校では実際に試験で面接が課される場合は、何度も何度も「面接練習」を実施します。「面接なんて」と思われるかもしれませんが、国公立大学の中には、「面接」100点・「小論文」100点の200点満点の試験を実施する大学も少なくありません。また、面接練習は、将来社会に出て行くときにも役に立つものです。学校では、試験当日に個々の良い面を引き出せるよう、生徒とともに考えながら面接練習を繰り返していきます。

夏休みが終わると「指定校推薦入試」の「校内選考会」が始まります。第一志望校の第一志望学部が来たならばチャレンジさせてください。そうでない場合は、まだまだ「大学入試センター試験」・「国公立大推薦入試」・「私立大一般入試」・「国公立大入試」と多くのチャンスがありますので、妥協せず（妥協させず）にがんばらせていただきたいと思います。私たちは、3月末まで彼らとともにがんばっていきますので、どうかご家庭でこどもさんと綿密な受験計画をお立てください。

『数学』って、どんな学問？

こと数学において、「わかる」とはどういうことかわかっていますか？ 例えば、おそらくあなたは全ての2次方程式を解くことができるでしょうが、「全ての2次方程式に解があたえられる」ことをわかっているでしょうか？ もう少し噛み砕いて言うと、「解の公式が正しくその2次方程式の解を与える式となっている事実について」説明ができますか？ という話です。数学Ⅱの教科書に書いてあります。

京都大学理学部数学科のある教授の言葉を借りると、「ある項目について教科書に書いてあることを再現できるくらいまで理解してはじめて、その項目を理解したに至る」のだそうです。私も全くその通りだと思っています。今一度、自分が数学のことをわかっているかどうか、教科書を開いて確認してみてください。夏休みがそのような確認のチャンスの時です。実践練習とともに、その確認を進めることが実力養成の2本柱と信じてがんばってください！

（数学科 田頭 修）

うちの子は…

（「PTA 進路委員」をお願いしている保護者のみなさまに、自分のこどもさんについて語っていただいた文章です。ナマの声をお届けします。）

4月の進路説明会で河合塾の方のお話を聴き改めて「息子は受験生なんだ」と感じましたが本人は「もう少し先の話」だと思っているのではないのでしょうか？

連休中の模試で時間を勘違いして今から向かって間にも合わないとわかった瞬間「受験生の自覚無し」だと判明しました。これが受験当日だったら…と思うと心配になります。

きっと本人も勉強しないといけない時期だということは充分承知の上で出来ていない事への焦りや罪悪感はあるのではないかと思います。

見守ることの難しさを思い知らされる1年(弱)になりそうですが親としてまたひとつ成長できるチャンスだと思うことにしています。

（3年：Hさん）

おわりに

年々夏の暑さが酷くなっています。けれども、暑いときに暑ければ、秋以降の実りは充実するものです。生徒たちが暑い（熱い）気持ちで夏を乗り切って、大きな実りを得ることを期待します。

なお、進路に関するご質問やご相談がありましたら、ご遠慮なくご連絡下さい。

TEL 072-821-0546(代)

文責：神原 実（研究開発室）